

研究課題名	さい帯血を使った小児脳性まひ治療の研究 (より効果的な臍帯血幹細胞治療を目指した臍帯血研究 － 大阪市立大学大学院医学研究科による多施設研究 －)
研究の意義・目的	調製保存に至らなかったさい帯血を用いて、さい帯血から脳性まひの治療に効果のある細胞分離方法の確立、小児脳性まひモデルマウスを用いた治療効果の基礎的検討を行います。この研究で得られた成果によって、現在よりも多くの治療できない病気の患者さんにさい帯血を移植し治療できることが可能になると考えています。
研究を行う期間	「機関の長の実施の許可日」～ 2025年3月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	日本赤十字社近畿さい帯血バンクに臍帯血を提供いただいた方
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	使用するさい帯血等の種類・情報の項目 さい帯血等の種類：調製保存に至らないさい帯血 さい帯血等の情報：液量、有核細胞数、CD34 陽性細胞数 研究方法《さい帯血等の具体的な使用目的・使用方法含む》 さい帯血等のヒト遺伝子解析： <input checked="" type="checkbox"/> 行いません。 <input type="checkbox"/> 行います。 《研究方法》 研究期間中、調製に至らなかったさい帯血を用いて、治療効果の高い細胞分離方法を検討します。分離した細胞に含まれる白血球数/赤血球/血小板数や細胞表面タンパクの発現変化を試験管内で検討し、さらに分離した細胞を小児脳性まひモデルマウスに投与し、運動神経向上や体重増加などの発育に関する効果を検討します。
試料・情報の他機関への提供	この研究では、日本赤十字社近畿ブロック血液センターを通して大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学教室へ試料・情報を提供します。その際は、特定の個人を識別できない形で提供します。
この研究を行っている共同研究機関	大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学 教授 濱崎考史 日本赤十字社近畿ブロック血液センター 製剤部 部長 木村貴文 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 感染症制御プロジェクト 安居輝人
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 発達小児医学 研究代表者 濱崎考史
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	研究に使用される前で、個人の特定ができる状態であれば同意の撤回及び研究使用の停止が出来ます。 日本赤十字社近畿さい帯血バンク(近畿さい帯血バンク)へさい帯血を提供され、同意の撤回もしくは研究利用の停止を希望される方は近畿さい帯血バンクまでご連絡下さい。 電話：06-6962-7056

	その後、大阪市立大学大学院医学研究科 発達小児医学に連絡の上、ただちに研究使用停止、すべての情報とさい帯血を破棄します。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 発達小児医学 (担当者氏名) 濱崎 考史 電話番号：(06) 6645-3816 メールアドレス： gr-med-ped@omu.ac.jp